

ドラッグインフォメーション

2020年4月改訂

販売名	酒石酸「コザイカイ・M」	発売	吉田製薬株式会社
局方名	日局 酒石酸	製造販売	小堺製薬株式会社
洋名	Tartaric Acid	発売年月	1949年8月
一般名	酒石酸	薬価収載年月	1950年10月
剤形	散剤	薬価	10g 27.40 健保適用
規制区分	普通薬	日本標準商品分類番号	877149
厚生労働省薬価基準収載医薬品コード	7149009X1071	YJコード	7149009X1071
構造式	構造式： $\text{HOOC}-\text{CH}-\text{CH}-\text{COOH}$ $\quad\quad\quad \quad $ $\quad\quad\quad \text{OH} \ \text{OH}$		
	分子式： $\text{C}_4\text{H}_6\text{O}_6$		
	分子量：150.09		
性状	無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、においはなく、強い酸味がある。 水に極めて溶けやすく、エタノール（95）に溶けやすく、ジエチルエーテルに溶けにくい。 本品の水溶液（1→10）は右旋性である。		
組成	本品1g中に、日局酒石酸1gを含有する。		
効能効果	緩衝・矯味・発泡の目的で調剤に用いる。 また、リモナーゼ剤の調剤に用いる。		
用法用量	緩衝・矯味・発泡の目的で調剤に用いる。 また、リモナーゼ剤の調剤に用いる。		
使用上の注意	副作用		
	大量はアシドーシス、腎障害を起こす。		
体内薬物動態	生体内では不活性で、イヌ又はウサギに投与すると74～99%が未変化体のまま排泄される。ヒトに2gを経口投与すると約20%は尿中に未変化体として排泄され、残りは吸収されずふん便中に排泄される。また非経口的に投与すると未変化体のまま定量的に排泄される。		
非臨床試験	急性毒性：LD ₅₀ （経口投与）マウス 4360mg/kg イヌ 5000mg/kg		
	亜急性毒性： イヌに酒石酸を990mg/kg/日の量を与えたところ、90日から114日のうちに尿円柱が生じ、90日目に死に至った動物に窒素血症がみられた。		
	慢性毒性： ラットに酒石酸を0.1%、0.5%、0.8%及び1.2%添加した飼料を2年間与えたが、異常は認められなかった。 動物での吸収・分布・代謝・排泄： イヌ又はウサギに投与すると74～99%が未変化のまま排泄される。		
取扱上の注意	貯法：密閉容器 配合変化： Ca^{2+} は難溶性塩を、 NH_4^+ 、 K^+ は難溶性の酒石酸水素塩を生じる。		
備考	包装単位：500g	文献請求先	吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央5-1-10